

# 4

## 第4章

### 施策と具体的な取組



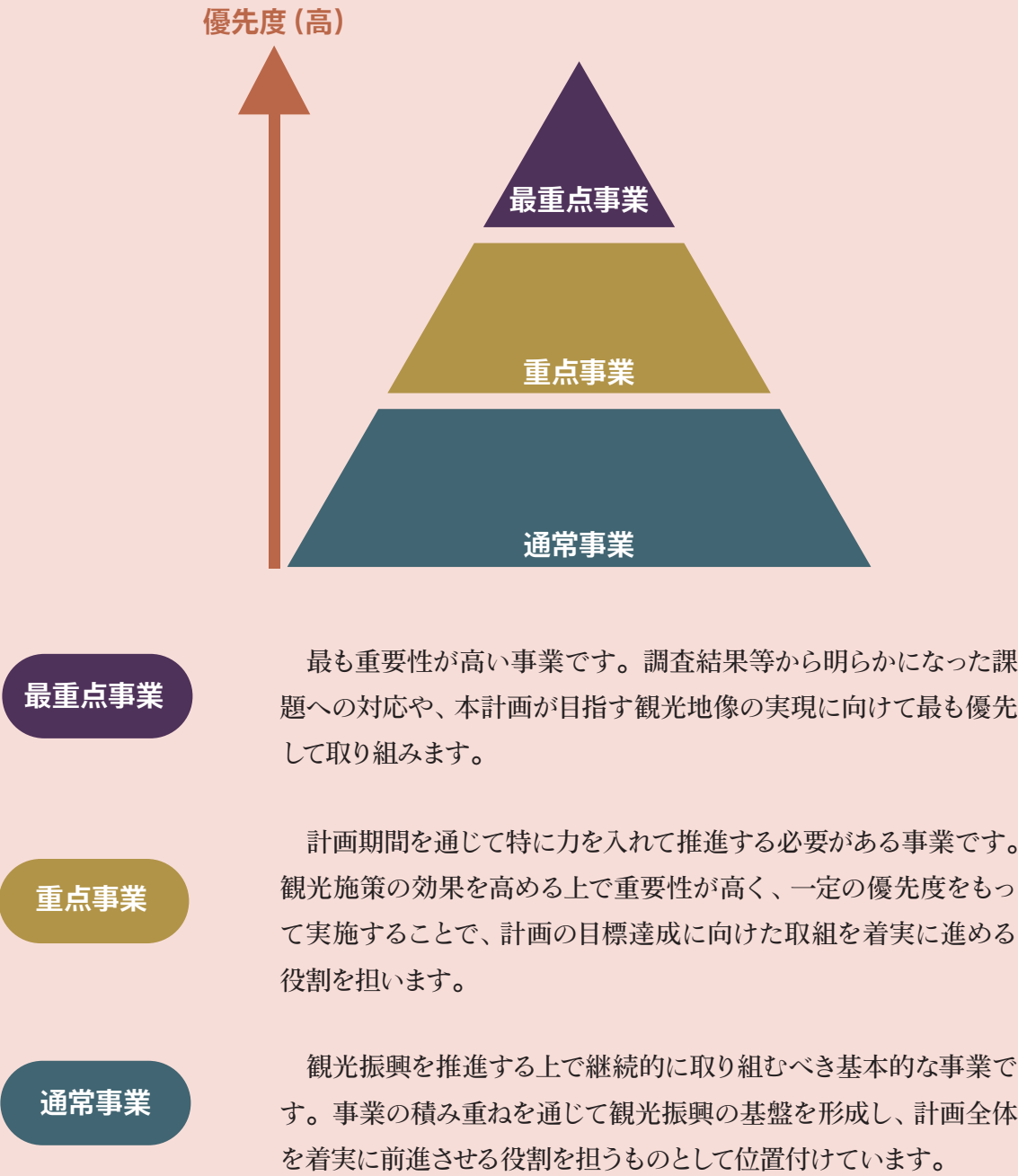
| 目指すべき観光地像                                                    | 基本方針                                 | 施策                              |
|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------|
| ふるさとへの誇りが人々を惹きつけ、住む人も訪れる人も幸せになるまち<br>「宝石のように人々が輝き続ける 山の都こうふ」 | 基本方針1<br>エリアごとの強みを引き出す観光地づくり         | 1-1 北部エリアの観光地づくり                |
|                                                              |                                      | 1-2 中心エリアの観光地づくり                |
|                                                              |                                      | 1-3 南部エリアの観光地づくり                |
|                                                              | 基本方針2<br>甲府の資源を最大限に活かした地域活性化と情報発信の強化 | 2-1 『山の都こうふ』の推進                 |
|                                                              |                                      | 2-2 『甲府ブランド』の活用と磨き上げ            |
|                                                              |                                      | 2-3 武田氏の歴史を活用した観光推進             |
|                                                              |                                      | 2-4 ユニークなコンテンツを活用した取組の推進        |
|                                                              |                                      | 2-5 選ばれる甲府に向けたマーケティングプロモーションの強化 |
|                                                              | 基本方針3<br>こうふ愛の醸成と市民参画による持続的な観光振興の推進  | 3-1 こうふ愛を醸成する取組                 |
|                                                              |                                      | 3-2 公民連携による生活の質を向上させる取組         |
|                                                              |                                      | 3-3 市民が観光に関わるための取組              |
|                                                              | 基本方針4<br>誰もが快適に過ごせる観光地づくりと交通環境の充実    | 4-1 観光関連施設の維持管理と充実              |
|                                                              |                                      | 4-2 回遊性・周遊性の向上                  |
|                                                              |                                      | 4-3 インバウンドの誘客                   |
|                                                              | 基本方針5<br>観光を前進させる体制づくり               | 5-1 観光推進体制の整理                   |
|                                                              |                                      | 5-2 広域連携（県央ネットやまなし※4等）の強化       |
|                                                              |                                      | 5-3 観光関連団体及び事業者等との連携強化          |

※4：県央ネットやまなし  
山梨県内の9市3町（甲府市、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、笛吹市、北杜市、山梨市、甲州市、中央市、昭和町、市川三郷町、富士川町）が連携して構成する県央ネットやまなし（やまなし県央連携中枢都市圏）では、各地域の個性を互いに尊重しながら連携・協力を一層深めてスクラムを組み、圏域全体の経済の成長と、圏域の住民全体の豊かで快適な暮らしの実現に向けて、様々な取り組んでいる。

事業の位置付け

本計画においては、各事業をその役割や優先度に応じて、「**最重点事業**」、「**重点事業**」、「**通常事業**」の3つに区分し、限られた資源を効果的に活用しながら、計画的な推進を図ることとします。

事業の推進にあたっては、年度ごとに開催する推進会議において、進捗状況や取組内容を共有し、計画的な推進を図ります。



02 | 基本方針 1 の具体的な取組

基本方針1：エリアごとの強みを引き出す観光地づくり

本市は南北に長い地形を有し、北部には本市を代表する観光地である「日本遺産 御嶽昇仙峡」や、再開発事業が進む「信玄の湯 湯村温泉」があります。中心エリアには「舞鶴城公園」や「武田神社」などの歴史・文化に触れながらまち歩きを楽しめる資源が集積しています。さらに、南部には「小瀬スポーツ公園」をはじめ、豊富な農産物、甲斐銚子塚古墳や中道往還などの歴史資源が広がっており、エリアごとに異なる魅力と特徴があります。

こうした各エリアの強みを活かし、ハードとソフト両面の整備を進めることで、本市の課題である「滞在時間の延伸」や「観光消費額の増加」につなげていきます。

施策・事業一覧

| 施策                  | 事業                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-1<br>北部エリアの観光地づくり | <div>★「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業への支援</div> <div>★「日本遺産 御嶽昇仙峡」の取組による地域活性化</div>                                                                                                                                             |
| 1-2<br>中心エリアの観光地づくり | <div>● こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路を活用した賑わいの創出</div> <div>● 甲府城の活用及び周辺地域の活性化</div> <div>● まち歩きの推進</div> <div>○ ナイトタイムエコノミーの推進</div> <div>○ 武田氏館跡周辺地域の整備と活用</div> <div>○ 遊亀公園附属動物園のリニューアル</div> <div>○ 甲斐善光寺、山梨県立美術館等の活用</div> |
| 1-3<br>南部エリアの観光地づくり | <div>● リニア山梨県駅（仮称）周辺のまちづくりの検討</div> <div>○ 小瀬スポーツ公園の来場者に周遊してもらう取組の推進</div> <div>○ 甲府南 IC 周辺施設を活用した取組</div>                                                                                                       |

★最重点事業 ●重点事業 ○通常事業



施策1-1：北部エリアの観光地づくり

北部エリアに位置する「信玄の湯 湯村温泉」及び「日本遺産 御嶽昇仙峡」は、観光の受入拠点として核となる重要な地域です。地域資源を活かした観光拠点の再生と高付加価値化を進めることで、滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図っていきます。

具体的には、「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業への支援や昇仙峡エリアにおける観光資源の活用と事業化、さらに御嶽古道の整備や山岳信仰を含む多様な情報発信などを関係する団体や自治体と連携して取り組みます。体験価値や回遊性の向上により、本市を代表する観光拠点としての魅力と機能のさらなる向上を目指します。

現状・課題

「信玄の湯 湯村温泉」では、宿泊施設の数がピーク時に対して大きく減少するなど、以前に比べて活気を失っている状況です。また、「日本遺産 御嶽昇仙峡」においても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、観光入込客数は令和2年から令和3年にかけて減少しました。

コロナ禍以降は近距離観光や自然志向の高まりを背景に、御嶽昇仙峡の観光入込客数の回復の兆しが見られています。また、「信玄の湯 湯村温泉」では、地域DMO※5である甲府観光開発株式会社が中心となり再開発事業が進められており、新たな宿泊施設や受入拠点の整備など、観光地としての再生に向けて取り組んでいます。

| 事業                                      | 内容                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>最重点事業</b><br>「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業への支援    | 甲府観光開発株式会社が策定した「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業計画に基づき、環境整備や施設整備、二次交通整備などの伴走支援を実施し、観光地としての再興、さらなる高付加価値化を目指します。                                                                                                           |
| <b>最重点事業</b><br>「日本遺産 御嶽昇仙峡」の取組による地域活性化 | 新たな地域活性化計画に基づき、日本遺産を活用した地域活性化に取り組みます。ストーリーを体感的に学ぶことができる探求の地として昇仙峡を位置付け、歴史・文化、自然を活かしたコンテンツの充実により来訪者の満足度を高めるとともに、子どもをはじめとした地域住民が郷土に誇りを持ち愛着を醸成する取組などを推進します。また、昇仙峡エリアの回遊性の向上や通信環境の改善など、地域が抱えている課題解決に取り組めます。 |

※5 地域DMO：地域の観光資源を統一的に管理・運営し、観光振興を担う組織

コラム

地域 DMO 甲府観光開発株式会社の取組

「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業

「信玄の湯 湯村温泉」は、本市唯一の温泉街として、長く市民や来訪者に親しまれてきました。近年では、地域DMOである甲府観光開発株式会社が主体となり、「やまなしの“ほんもの”と出会う場所」をコンセプトに、温泉街が持つ本来の魅力を現代のニーズにあわせるべく、再開発事業が進められています。

今後は、温泉街の景観や各施設の魅力を高める取組に加え、ハード整備などを通じて、人が集い、まちを回遊しながら過ごせる環境づくりが進められていく予定です。民間事業者の創意工夫を軸に、温泉・まち・人がつながることで、「信玄の湯 湯村温泉」は甲府の魅力を支える拠点として生まれ変わります。



令和7年8月にリニューアルした旅館明治・鷺の湯

施策1-2：中心エリアの観光地づくり

甲府駅周辺の中心エリアは、主要な観光拠点が集積しており、滞在型観光地としての今後の発展が期待される重要な地域です。こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路、舞鶴城公園、商店街、甲州夢小路、山梨ジュエリーミュージアムなどの多様な拠点を活かし、市街地全体を面的に観光地化していく取組を推進します。

具体的には、中心エリアにおけるイベントの展開や、歴史資源を活かした体験型観光コンテンツの構築、エリア間の回遊性向上やまち歩き環境づくり、夜間滞在を促すナイトタイムエコノミーの推進に取り組みます。あわせて、武田氏館跡や遊亀公園附属動物園などの整備・活用を進めることで、観光客と市民の双方が歴史に触れながらまち歩きが楽しめる都市観光としての魅力を高めていきます。

現状・課題

中心エリアには、武田神社、甲府城跡(舞鶴城公園)、甲斐善光寺といった歴史資源をはじめ、ワイナリーや甲州夢小路など、多様な観光資源が点在しています。しかし、これらの資源が十分に結びついておらず、エリア全体としてのまち歩きが楽しめる環境が確立されていないことから、「歩いて楽しめるまち」としての魅力が十分に発揮されていない点が課題となっています。

一方で、近年はこうふ亀屋座・小江戸甲府花小路のオープンや、公民連携(甲府まちなかエリアプラットフォーム)によるまちなかの再生の取組が進み、新たな回遊を生み出す動きもあります。今後は、武田氏館跡周辺の整備や遊亀公園附属動物園のリニューアルを契機として、市街地全体が「歩いていて楽しめるまち」としての魅力を高めていくことが期待されます。

コラム

甲府まちなかエリアプラットフォームの取組

まちの魅力を高めるものは観光だけではなくありません。日常の中でふと感じる居心地のよさや、顔の見える人とのつながりが、「このまちで過ごしたい」という気持ちを育て、まちへの愛着を深めていきます。本市では、「大好きな甲府の日常」をまちなかにいる人が感じられるよう、公民が連携した「甲府まちなかエリアプラットフォーム」による様々な取組が進められています。

市民の方々、民間事業者、行政がそれぞれの「得意」を持ち寄り、居心地のいい居場所づくりや、甲府らしい活動の創出、つながりやすい導線をつくることで、ぐらりと回遊して楽しめるまちとなり、まちなかに集う人が「ここにいると心地いい」、「暮らしが豊かになった」と感じられる場面が増えていきます。そんな何気ない実感の積み重ねこそが、「甲府らしさ」として、まちの魅力を高めていきます。



■取組の様子

「大好きな甲府の日常」をまちなかにつくる

| 事業                                                    | 内容                                                                                                                                                |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>重点事業</div> <div>こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路を活用した賑わいの創出</div> | こうふ亀屋座の指定管理者及び小江戸甲府花小路の運営事業者と連携しながら、年間を通じて魅力的なイベントを実施します。市内外に積極的にプロモーションを行っていくことで、こうふ亀屋座の利用者と小江戸甲府花小路及び中心商店街への来訪者の増加を目指します。                       |
| <div>重点事業</div> <div>甲府城の活用及び周辺地域の活性化</div>           | 甲府城が持つ歴史的・文化的な価値を最大限に活かすため、これまでにない新しい体験型観光コンテンツを構築するほか、訪れる人々が自然に歩きたくなるような魅力的な空間を整備し、更なる回遊性の向上を図ることで、周辺地域の活性化を目指します。                               |
| <div>重点事業</div> <div>まち歩きの推進</div>                    | 甲府駅周辺には、舞鶴城公園やこうふ亀屋座・小江戸甲府花小路、甲州夢小路に加えて商店街エリアなど、散策を楽しめる拠点が集まっています。これらの拠点を歩いて巡れるよう、エリア間のつながりを意識したアクセスの動線や案内の充実、回遊ルートの形成などを検討し、まち歩きが楽しめる環境づくりを進めます。 |
| ナイトタイムエコノミーの推進                                        | 観光客の滞在時間を延伸し、観光消費額の増加につなげるため、夜間の回遊コンテンツの充実と飲食店などの情報発信により、甲府ならではの魅力ある夜間滞在を創出するナイトタイムエコノミーの推進に取り組みます。                                               |
| 武田氏館跡周辺地域の整備と活用                                       | 「史跡武田氏館跡保存活用計画」に基づく武田氏館跡周辺の復元公開と活用を関係団体と連携して推進します。また、武田氏三代の歴史を積極的に情報発信し、誘客を図ります。                                                                  |
| 遊亀公園附属動物園のリニューアル                                      | 令和8年度はリニューアル工事中の動物園を一部限定的に開園するとともに、SNSやホームページ等を活用した情報発信を実施します。令和9年度中の動物園のオープンを目指して整備事業を実施し、令和10年度中に遊亀公園全体のオープンを目指します。                             |
| 甲斐善光寺、山梨県立美術館等の活用                                     | 令和9年度に予定されている甲斐善光寺の御開帳に合わせたPRを実施します。また、県立美術館・県立文学館のイベントや展覧会に合わせ、情報発信を行います。                                                                        |

施策1-3：南部エリアの観光地づくり

南部エリアは、スポーツ、歴史、農業など多様な観光資源を有するとともに、今後リニア山梨県駅（仮称）の開業により、新たな交流人口の拡大や滞在型観光の展開が期待される地域です。南部エリアの強みを活かした観光地づくりを進めることで、市全体の回遊性を高め、観光消費の拡大と地域活力の向上につなげていきます。

具体的には、リニア山梨県駅（仮称）周辺のまちづくりの検討を進めるとともに、小瀬スポーツ公園の来場者が市域を回遊してもらう取組や、甲府南IC周辺に集積する農作物や歴史・文化資源などを活用した魅力形成と情報発信を推進します。これらを通じて、南部エリアが来訪者と市民がともに魅力を感じられるよう、観光地づくりを進めます。

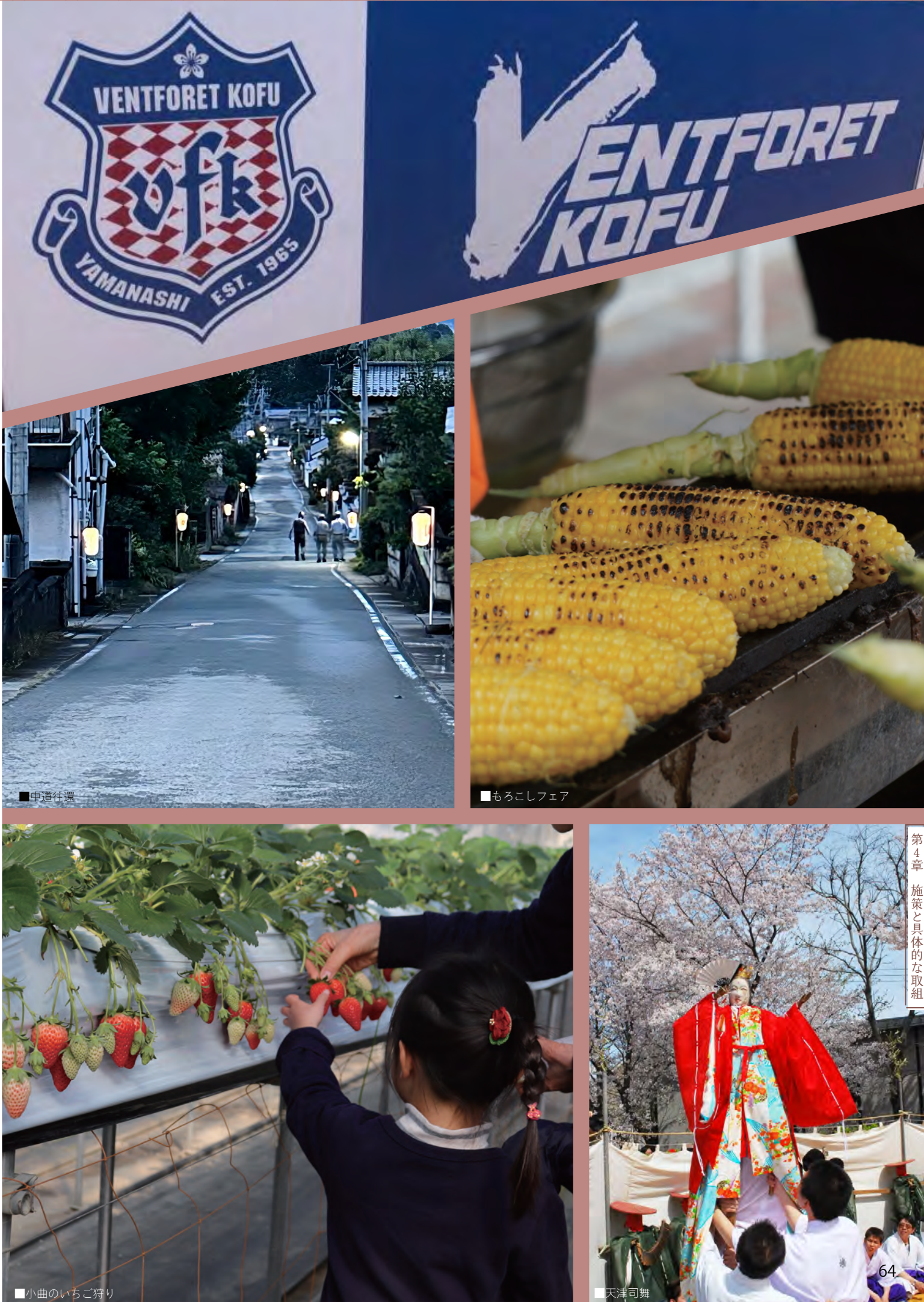
現状・課題

南部エリアは、曾根丘陵公園や東日本最大級の甲斐銚子塚古墳、山梨県立考古博物館、中道往還などの歴史や文化に加え、農の風景が広がっています。また、プロサッカーチームであるヴァンフォーレ甲府のホームゲームが行われる小瀬スポーツ公園が立地するなど、スポーツを核とした集客力も備えています。

一方、北部エリアや中心エリアと比べて観光地としての認知度は低く、誘客力の弱さが課題となっています。その背景には、宿泊施設や飲食店などの観光関連施設の不足、公共交通の利便性の低さなど、滞在型観光を支える基盤が十分に整っていない状況があります。

こうした中、リニア山梨県駅（仮称）の開業を見据え、広域的な交流の拡大や周辺開発が期待されており、南部エリアは新たな甲府の玄関口として、国内外からの交流人口の拡大に寄与する可能性を有しています。

| 事業                                     | 内容                                                                                                                                     |
|----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>重点事業</div> リニア山梨県駅（仮称）周辺のまちづくりの検討 | リニア山梨県駅（仮称）の開業による新たな交流の波を確実に本市や圏域全体に波及させるべく、駅前エリアを新たな甲府・山梨の玄関口ととらえ、観光のハブとして必要な機能を検討するとともに、来訪者、市民双方にとって魅力あるまちづくりを検討します。                 |
| 小瀬スポーツ公園の来場者に周遊してもらう取組の推進              | スポーツ大会やヴァンフォーレ甲府のホームゲームを活用した誘客を実施します。また、来場者に向け、中心市街地や他の観光地を紹介する取組を検討します。さらに、第81回国民スポーツ大会冬季大会（スケート競技会）及び令和9年度全国高等学校総合体育大会を契機とした誘客を図ります。 |
| 甲府南IC周辺施設を活用した取組                       | いちごやスイートコーンなどの高品質な果樹・野菜が生産され、新鮮な農作物が購入できる直売所のほか、山梨県立考古博物館や中道往還などの歴史資源を活用することで、観光客の滞在時間の延伸と地域の魅力向上を図ります。                                |



■中道往還

■もろこしフェア

■小曲のいちご狩り

■天津司舞

03 | 基本方針2の具体的な取組

基本方針2：甲府の資源を最大限に活かした地域活性化と情報発信の強化

本市には、甲武信ユネスコエコパークに象徴される世界に認められた雄大な自然をはじめ、連綿と受け継がれてきた歴史・文化、国内外から高い評価を受けている宝飾産業や伝統工芸の甲州印伝、さらにワインや甲府鳥もつ煮に代表される地域に根差した食文化など、他都市にはない多彩な地域資源が数多くあります。

これらの「甲府ならではの魅力」を更に磨き上げ、資源を活かした体験型コンテンツの充実を図るとともに、効果的な情報発信により認知度の向上を進めることで、「観光入込客数の増加」や「観光消費額の増加」を図ることを、本方針に位置付けます。

施策・事業一覧

| 施策                                 | 事業                                                                                                                |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-1<br>『山の都こうふ』の推進                 | <div>● 県央ネットやまなしによる山のぼり・まち歩きの促進</div> <div>○ 甲武信ユネスコエコパークや甲府名山を活用した山歩きの推進</div> <div>○ スポーツ・アウトドアアクティビティの推進</div> |
| 2-2<br>『甲府ブランド』の活用と磨き上げ            | <div>★ ジュエリーを活用した誘客と地域経済活性化</div> <div>○ 伝統工芸・食・ワインの活用</div> <div>○ 農産物の魅力発信と交流促進事業</div>                         |
| 2-3<br>武田氏の歴史を活用した観光推進             | <div>● 史跡武田氏館跡の復元公開・活用</div> <div>○ 信玄ミュージアムの活用</div> <div>○ 武田氏ゆかりの地の活用</div>                                    |
| 2-4<br>ユニークなコンテンツを活用した取組の推進        | <div>○ アニメ等を活用したプロモーションの実施</div> <div>○ 甲府ふるさと大使ハローキティの活用</div>                                                   |
| 2-5<br>選ばれる甲府に向けたマーケティングプロモーションの強化 | <div>★ 魅力発信による「こうふFAN」の拡大</div> <div>○ トrendをとらえたプロモーションの推進</div> <div>○ わかりやすい観光情報の提供</div>                      |

★最重点事業 ●重点事業 ○通常事業

施策2-1：『山の都こうふ』の推進

本市は、豊かな自然と都市機能が近接する特性を有しており、「山の都」としての魅力を前面に打ち出した取組が可能な都市です。自然と都市観光を結びつけ、滞在・周遊を促進する観光地づくりを進めることで、本市ならではの新たな体験価値と来訪動機の創出を図ります。また、登山道や景勝地の保全等にも取り組み、美しい自然を将来に引き継いでいきます。

具体的には、県央ネットやまなしの枠組みを活用し、山のぼりとまち歩きを組み合わせた都市観光を推進します。また、甲武信ユネスコエコパークや甲府名山、御嶽古道などの活用により、山歩きや登山による観光を充実させるとともに、荒川ダムでのカヌーやSUP（スタンドアップパドルボート）、シャワークライミング、御嶽昇仙峡の雄大な自然を活かしたサイクルツアーやマウンテンバイクなど、スポーツ・アウトドア アクティビティの充実を図り、新たな誘客と滞在促進につなげます。

現状・課題

本市は、富士山や南アルプス、八ヶ岳などの山々に囲まれ、甲武信ユネスコエコパークや甲府名山、御嶽古道などの豊かな資源を有しています。市街地の歴史や文化の資源と近接していることから、山歩きとまち歩きを組み合わせた「山の都」ならではの観光を展開できる強みがあります。また、近年はアウトドア需要の高まりや県央ネットやまなしによる広域連携の進展を背景に、体験型観光による誘客拡大の可能性が高まっています。

一方で、各観光資源を活かした取組が個別に展開されており、統一的な情報発信が十分でないことから、周遊性の向上や、滞在時間の延伸につながりにくい状況があります。また、古道整備や安全対策、ガイド体制の確保、事業者連携など、受入環境の整備も課題となっています。

| 事業                                       | 内容                                                                                                                                                                 |
|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>重点事業</div> 県央ネットやまなしによる山のぼり・まち歩きの促進 | 県央ネットやまなしの取組において、四季折々の豊かな自然と都市機能を活かした都市観光を展開するため、「山のぼり・まち歩き促進事業」により山登りとまち歩きを結びつけ、広域的な周遊と滞在時間の延伸を図ります。                                                              |
| 甲武信ユネスコエコパークや甲府名山を活用した山歩きの推進             | 甲武信ユネスコエコパークや甲府名山を活用した山歩きを推進するため、情報発信やPRイベントを実施します。また、御嶽古道のルートの整備や「甲府名山手帳」の配布、登山事業の展開により滞在型観光の促進につなげます。                                                            |
| スポーツ・アウトドアアクティビティの推進                     | 雄大な自然を活かした荒川ダムでのカヌー・SUPをはじめ、トレイルランニングやシャワークライミング、サイクルツアー、マウンテンバイクなど多様なアクティビティの充実を図ります。あわせて、本市の自然を体感できる新たな体験型コンテンツの造成に向け、関係団体や事業者と連携しながら調査・研究・開発を進め、新たな誘客の創出につなげます。 |

施策2-2：『甲府ブランド』の活用と磨き上げ

本市は宝飾産業をはじめ、甲州印伝などの伝統工芸、食、ワイン、農産物など、多彩な資源が集積する都市です。これらの地域ブランドを磨き上げ、観光・消費行動につなげる取組を進めることで、本市ならではの魅力の創出と地域経済の活性化を図っていきます。

具体的には、「宝石のまち甲府」の認知度拡大やふるさと納税制度を活用した「甲府ジュエリー認証制度」の信頼とブランド価値の向上、イベントの開催や情報発信、ツーリズム開発など、ジュエリーを核とした誘客と消費拡大を推進します。また、福井県鯖江市と連携し、両地域の産業特性や強みを生かした連携を進め、新たな価値創造を目指します。さらに、伝統工芸・食・ワインなどの地場産品に係るツアー造成への支援や「甲府之証」によるブランド発信、農産物直売所・観光農園を軸とした交流促進を通じ、地域資源の魅力を高めながら、「甲府ブランド」全体の強化と観光誘客の拡大へとつなげます。

現状・課題

本市には、食、伝統工芸品から農産物に至るまで、多彩な地場産品が集積しています。

とりわけ宝飾産業は全国トップシェアを誇り、研磨・鑄造・加工・デザイン・流通に至る宝飾工程が市内で完結している点が大きな強みです。世界に評価される研磨技術は医療機器など他産業にも応用されており、国内唯一の公立宝飾専門学校による人材育成も進んでいます。

一方で、こうした地域資源は観光客に十分知られておらず、来訪動機の形成につながっていない状況にあります。また、産業ごとに取組が進められていることから、横断的な商品展開や滞在型観光の形成が進みにくい点も課題です。

今後は、「宝石のまち甲府」のブランド力を高めるとともに、伝統工芸・食・ワインなどの地場産品を連携させた商品開発や滞在型コンテンツを展開し、地域全体の付加価値創出と消費拡大を図ることが求められます。



■甲府のワイン



■甲州印伝

| 事業                                               | 内容                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>最重点事業</div> <div>ジュエリーを活用した誘客と地域経済活性化</div> | ジュエリーを活用した誘客と地域経済の活性化を図ります。<br>イベントやインフルエンサーを活用した「宝石のまち甲府」のPRに加え、ふるさと納税制度を活用した「甲府ジュエリー認証制度」の信頼性とブランド価値の向上、ツーリズム開発などを通じて、ジュエリーを核とした新たな魅力創出と消費拡大につなげます。<br>また、福井県鯖江市との連携を進め、相互の強みを活かした企画等を検討し、ジュエリー産業の新たな可能性を広げていきます。 |
| 伝統工芸・食・ワインの活用                                    | 伝統工芸・食・ワインなどの地場産品の魅力発信とブランド化を推進するため、「甲府之証」を活用するとともに、本市の地場産品に関連するバスツアー造成への支援を検討し、体験機会の創出を図り、誘客促進と地域経済の活性化につなげます。<br>また、ジュエリー以外の地場産品についても、鯖江市との連携企画等を検討します。                                                           |
| 農産物の魅力発信と交流促進事業                                  | 農産物直売所での地場産品PRや観光農園の発信を強化します。さらに、農産物の販売促進活動などを活用した情報発信と都市農村交流を促進し、農産物を核とした体験・消費・誘客につなげます。                                                                                                                           |

コラム  
“ものづくり”の推進に向けて

”ものづくりのまち”福井県鯖江市との連携

眼鏡・繊維・漆器を基盤とする鯖江市と、宝飾産業を基盤とする甲府市は、いずれも日本を代表するものづくり産地です。

職人文化・分業制・中小製造業中心といった産地構造が共通しており、ものづくりの業態、素材や市場は異なるものの、眼鏡と宝飾はファッションアイテムとして親和性が高いことに加え、製造プロセスにおいて極めて高い共通性を持ちます。

両市は、広域レベルでのブランド力向上と担い手確保に資する新たな地方創生モデルを構築しようと、令和7年度より連携した事業を展開しています。



■眼鏡職人（鯖江市）

施策2－3：武田氏の歴史を活用した観光推進

本市は、武田氏ゆかりの史跡や文化資源が集積する歴史的背景を有しており、これらを活かした観光推進は、誘客拡大につながる重要な取組です。歴史資源を磨き上げ、体験を通じた滞在型観光の形成や地域への誇りの醸成につなげていきます。あわせて、文化財の保護と適切な活用を両立させ、市民や来訪者が歴史的価値に触れ、理解を深められる環境づくりを進めます。

具体的には、「史跡武田氏館跡保存活用計画」に基づく復元公開や周辺整備を進め、歴史に触れながら歩いて回遊できる環境を整備します。また、信玄ミュージアムの機能向上やイベント・学習受入の充実を図り、歴史を学び体験できる観光拠点としての活用を進めます。さらに、武田神社や要害山城など武田氏ゆかりの資源を磨き上げることで、歴史に根差した魅力ある観光地づくりと回遊性の向上につなげていきます。

**現状・課題**

本市には、史跡武田氏館跡や要害山城をはじめとする武田氏ゆかりの史跡や文化資源が集積しており、武田信玄に由来する歴史を軸とした高い観光のポテンシャルを有しています。一方で、これらの資源が十分に活かされておらず、学びや体験を通じた滞在型コンテンツとして来訪者に届いていないことが課題となっています。

現在、史跡武田氏館跡については、保存活用計画に基づく復元公開や周辺整備が進められ、信玄ミュージアムにおいても歴史学習の機会やイベントの充実など、活用に向けた動きがみられます。

今後は、歴史資源をつなぐ周遊の促進や、学びと体験を組み合わせた観光コンテンツの造成、地域全体での歴史・文化の発信を進めることが求められます。

これらの取組は、インバウンド誘客の強化に加え、市民が自らの歴史・文化に誇りを持つ機会の拡大にもつながり、地域資源を未来へ継承する基盤となることが期待されます。

| 事業                              | 内容                                                                                                                                                   |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>重点事業</div> 史跡武田氏館跡の復元公開・活用 | 「史跡武田氏館跡保存活用計画」に基づき、歴史的価値を次世代へ継承するため保存・活用を進めるなかで、周辺地域の整備、復元公開等を行い、訪れる方が歴史を体感できる環境づくりと周遊の促進につなげます。                                                    |
| 信玄ミュージアムの活用                     | 指定管理者制度を活用した効率的な施設運営により、信玄ミュージアムの利便性の向上を図ります。また、武田氏の歴史をPRする事業・イベントの実施や観光客が歴史を体験できる事業を創出して誘客を図るとともに、遠足・校外学習の受入など地元にかかれた学びの場を提供し、観光・交流の拠点としての活用を推進します。 |
| 武田氏ゆかりの地の活用                     | 武田氏ゆかりの地である武田神社や、要害山城など武田氏に関連する寺社・史跡などの歴史資源を活かし、そこを訪れてもらえる地域づくりの取組を検討します。                                                                            |

施策2－4：ユニークなコンテンツを活用した取組の推進

本市の魅力を幅広い層に発信し、新たな誘客につなげるため、アニメやキャラクターなどのユニークなコンテンツを活用した観光プロモーションを推進します。従来の観光資源だけでは十分に届きにくい層へのアプローチを強化し、話題性や関心の喚起を通じて、市全体の観光需要の拡大と回遊性の向上を図ります。

具体的には、アニメなどの舞台となった場所を巡る聖地巡礼や、人気キャラクターとのコラボレーション施策を展開し、ファン層との接点づくりと観光誘客につなげます。また、甲府ふるさと大使であるハローキティの発信力を活かし、イベントの実施や交流機会の創出を通じて、本市の認知度を高める取組と誘客促進を図ります。

**現状・課題**

本市では、歴史や自然の活用だけでなく、世界的に人気のあるキャラクターとの連携や、アニメ作品の舞台化など、新たな観光コンテンツの活用に取り組んでおり、若年層やアニメ作品のファンといった、これまで接点の少なかった層へのアプローチが期待されています。

一方で、アニメやキャラクターなどのポップカルチャーを活用した観光施策は市場が限定的であり、魅力提供の幅が十分とは言えない状況にあります。

今後は、アニメやキャラクターコンテンツを戦略的に活用し、既存の観光資源と組み合わせた回遊促進や消費拡大を図るとともに、交流人口の拡大につながる新たな魅力づくりが求められます。あわせて、甲府ふるさと大使であるハローキティの発信力と訴求力を更に活かすことで、認知度の向上や話題性の創出、誘客強化へとつながることが期待されます。

| 事業                  | 内容                                                                                                                                                                           |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| アニメ等を活用したプロモーションの実施 | 人気キャラクターやアニメなどを活用したプロモーションを展開するほか、アニメなどの舞台となった場所の情報発信を行い、コアなファン層との接点づくりや地域とのコラボ企画などを通じて、聖地巡礼などの誘客促進につなげます。<br>また、フィルムコミッションを通じた市内ロケ地の情報提供や作品ニーズに合ったロケ地を紹介し、地域のプロモーションにつなげます。 |
| 甲府ふるさと大使ハローキティの活用   | 甲府ふるさと大使ハローキティの発信力と訴求力を活かし、各種イベントでの活用や交流の機会づくりを進め、誘客促進を図ります。                                                                                                                 |

施策2-5：選ばれる甲府にむけたマーケティングプロモーションの強化

甲府が観光地として選ばれるためには、効果的な情報発信とマーケティングの取組を強化し、甲府ブランドの認知度の向上と誘客拡大につなげます。本市の魅力や取組を市内外に分かりやすく発信することで、ファン層の拡大と再訪の促進を図り、持続的な観光需要の創出を目指します。

具体的には、市民を含む幅広い層に向けた魅力発信を進め、市内外に「こうふFAN」となる応援者の拡大を図ります。また、SNSをはじめとしたデジタル媒体に加え、新たなツールや情報発信の潮流を的確に捉えたプロモーションを展開し、ターゲットに応じた効果的な発信を推進します。さらに、観光情報の一元化を進め、正確で最新の情報を分かりやすく提供することで、検索性や利便性を高めるとともに、大会や研修、学会等の利用促進にもつなげます。

現状・課題

本市では、歴史・自然・文化など多様な観光資源を有している一方で、その魅力が十分に伝わっておらず、情報発信の面で課題を抱えています。観光客アンケートでは、非来訪者の約4割が「甲府で何ができるのか分からない」と回答しており、観光地としての認知度の低さが来訪の障壁となっています。

また、市民に対しても観光の取組や地域の魅力が十分に共有されておらず、市民自らが観光の担い手や応援者として関わる機会が限定的であることが課題です。事業者からも観光行政に対する期待として「情報発信の強化」が挙げられており、市全体での一体的な発信体制の構築が求められています。

現在、本市ではSNS 等を活用した情報発信を進めていますが、観光情報の一元化や発信内容の正確性の向上、市内外に向けた情報提供の更なる強化が必要です。今後は、地域全体で統一感のある広報・ブランド戦略を展開し、市民・事業者・観光客が「こうふFAN」として関係性を深めていく仕組みを整えることで、認知度の拡大や再訪促進、交流人口の拡大につなげていくことが期待されます。

| 事業                                 | 内容                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>最重点事業</b><br>魅力発信による「こうふFAN」の拡大 | 本市の取組や魅力を広く知ってもらうため、市民や国内に向けたプロモーションを展開し、本市のファンである「こうふFAN」の拡大を図ります。ホームページやSNSはもちろん、従来の情報発信ツールも活用し、ターゲットをとらえた効果的かつ訴求力のある情報発信を行います。                                            |
| トレンドをとらえたプロモーションの推進                | 既存のSNS等による情報発信に加え、新たな情報発信ツールやトレンドにいち早く対応します。ターゲットに応じた訴求力の高いプロモーションを推進し、認知度向上と誘客促進につなげます。                                                                                     |
| わかりやすい観光情報の提供                      | 観光情報を一元化し、提供内容の管理や定期的な情報精査を行い、正確かつ最新の観光情報をわかりやすく発信します。また、旅行者の目的に応じた検索性を高め、アクセス導線を改善するとともに、大会・研修・学会などの開催地としての利用促進に必要な情報を整理・掲載することで、各種イベント主催者や参加者の利便性を高め、観光客の誘客と来訪機会の創出につなげます。 |

コラム

世界に誇る 宝石のまち

「宝石のまち甲府」の由来

甲府市が「宝石のまち」と呼ばれる背景には、自然の恵みと職人の技が重なり合ってきた長い歴史があります。御嶽昇仙峡周辺では古くから水晶が産出され、江戸時代にはすでに水晶の研磨や加工が行われていたことが伝えられており、職人たちが磨き続けてきた技術は時代とともに洗練され、明治以降は分業化や機械化を経て大きく発展しました。



現在では、企画・デザインから原料調達、宝石の研磨・彫刻、貴金属加工、流通まで、ジュエリーづくりの全工程が一つのまちにそろう、世界的にも珍しい集積産地となっています。



山梨県 職人の流儀



基本方針3：こうふ愛の醸成と市民参画による持続的な観光振興の推進

持続可能な観光振興を進めるためには、市民一人ひとりが本市の魅力に誇りと愛着を持ち、その価値を自らの言葉で観光客に伝えていくことが重要です。観光は行政や事業者だけでなく、市民を含めた地域全体で支えていくものであり、市民の関わりが観光地としての魅力や信頼感を高める基盤となります。

そのため、本市の自然や歴史・文化に子どもの頃から触れる機会を充実させ、本市への理解と愛着を育むとともに、観光客を迎える意識やおもてなし力の向上を図ります。あわせて、市民が観光に主体的に関わり、参加できる仕組みづくりを進めることで、地域全体で観光を支える意識の醸成につなげていきます。

こうした取組を通じて、人材と誇りを育み、市民参画を基盤とした持続可能な観光振興を推進することを本方針に位置付けます。

施策・事業一覧

| 施策                             | 事業                                                                                              |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3-1<br>こうふ愛を醸成する取組             | <div>● こうふの魅力再発見事業</div> <div>● こうふの魅力と共に生きる取組</div> <div>○ 「甲府を好きになる」イベントの開催</div>             |
| 3-2<br>公民連携による<br>生活の質を向上させる取組 | <div>○ 公民が連携した「大好きな甲府の日常」をまちなかにつくる取組</div>                                                      |
| 3-3<br>市民が観光に関わるための取組          | <div>○ イベントを通じた市民参画の推進</div> <div>○ SNS等を活用した市民参画の検討</div> <div>○ ホスピタリティの向上による来訪者へのおもてなし</div> |

★最重点事業 ●重点事業 ○通常事業

施策3-1：こうふ愛を醸成する取組

本市の魅力や価値を市民自身が再認識し、郷土への誇りと愛着を育むことは、観光振興を支える重要な基盤となります。市民が地域資源に触れ、まちに関わる機会を広げる取組を進めることで、「こうふ愛」の醸成と地域ブランドの向上につなげていきます。

具体的には、遠足や校外学習などを通じた市内観光地で学ぶ機会を創出し、子どもたちをはじめとした市民が歴史や文化に触れられる環境を整えます。また、「甲府ジュエリーラブプロジェクト※6」を推進し、人生の節目にジュエリーを贈る・受け継ぐ文化を広げることで、本市の基幹産業への理解と誇りの醸成を図ります。

**現状・課題**

観光は地域外からの誘客を目的とする側面が強い一方、本市においては市民がまちの魅力を理解し、応援者となる「内なる観光力」の強化が、地域価値の向上やシビックプライド※7の醸成に不可欠です。

しかし、現状では、地域の歴史や文化などの地域資源に幼少期から触れ、体験する機会が十分とはいえず、本市の魅力を実感するきっかけが生まれにくい状況にあります。

また、本市の基幹産業である宝飾産業についても、市民が日常的に接する機会が限られており、「宝石のまち甲府」としての認知が十分に浸透していません。このため、国内外への発信に加え、市民自身が地域の歴史・文化・産業などの魅力を再発見し、自らのまちに誇りを持てる環境づくりが求められます。

今後は、学校教育や地域のイベントを通じた学習・体験機会を充実させ、世代を超えて暮らしと観光をつなぐ仕組みを構築することで、市民がこうふ愛を育み、地域の応援者として地域づくりに関わる土壌を整えていくことが重要となります。

| 事業                                        | 内容                                                                                                                            |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>重点事業</div> <div>こうふの魅力再発見事業</div>    | 地域の歴史・文化を改めて知り、学ぶ機会を創出します。市内幼稚園・保育園や小中学校の遠足や校外学習を市内観光地で実施する取組を推進することで、市民がまちの魅力を再発見し、誇りと愛着の醸成につなげます。                           |
| <div>重点事業</div> <div>こうふの魅力と共に生きる取組</div> | 「甲府ジュエリーラブプロジェクト」を推進し、人生の節目にジュエリーを贈る・受け継ぐ文化を広げ、市民の誇りと地域ブランドの価値向上につなげます。また、市内高校生及び留学生が観光地を巡る事業を行うなど、市民が自分のまちの地域資源に触れる取組を推進します。 |
| 「甲府を好きになる」イベントの開催                         | 「甲府大好きまつり」や「こうふ開府の日記念イベント」などのイベントを通して、世代を問わず市民がまちの魅力を体感し、郷土への誇りや愛着を育めるよう取り組みます。                                               |

※6: 甲府ジュエリーラブプロジェクト  
人生の節目（誕生、プロポーズ、継承）に、大切な人へジュエリー（「ベビージュエリー」、「プロポーズジュエリー」、「ヘリテージジュエリー」）を贈るという新たなジュエリー文化を提案する取組

※7: シビックプライド  
自分が住んでいる、関わっている「まち・地域」への誇りや愛着、当事者意識

施策3-2：公民連携による生活の質を向上させる取組

本市では、市民と観光客の双方が心地よく過ごせるまちづくりを進めるため、公民連携による生活環境の向上に取り組みます。日常の暮らしの中で「幸せで豊かな暮らし」を実感できるまちなかの形成は、都市としての魅力を高めるとともに、観光客の滞在価値の向上にもつながります。

具体的には、公民が協働し、「居心地のいい場所をつくる」、「甲府らしい活動をつくる」、「つながりやすい動線をつくる」の3つの視点からまちなかの環境改善を進め、人が回遊して楽しめる空間と活動づくりを進めます。

これらの取組を通じて、市民の生活満足度の向上と中心エリアにおける賑わいの創出、観光客の滞在時間の延伸を目指します。

現状・課題

中心エリアでは、歩きやすさ、回遊性の弱さなど、受入環境に課題が見られます。このため、市民・観光客の双方が心地よく過ごせるまちなかの形成に向けた取組が求められています。

近年は観光ニーズの多様化により、旅先での生活文化の体験や住民との交流への関心が高まっており、居心地のよい空間や分かりやすい散策導線の整備は、都市観光における重要な要素となっています。また、市民アンケートにおいても、観光分野への期待として「賑わいの創出」を求める声が多く寄せられています。

今後は公民が連携し、交流の場となる空間づくりや甲府らしい日常的な活動の創出、エリア間をつなぐ導線づくりを進めることで、市民の生活満足度と中心エリアの魅力向上を同時に図る必要があります。

施策3-3：市民が観光に関わるための取組

本市では、市民一人ひとりが地域の魅力を理解し、観光客を温かく迎える環境を整えることが、観光地としての魅力向上につながり、市民の地域への愛着と誇りの醸成に寄与するものと考えます。そのため、市民が観光に関わる機会を広げ、地域全体で観光を支える体制づくりを進めます。

具体的には、「信玄公祭り」や「小江戸甲府の夏祭り」などのイベントにおいて、市民ボランティアや情報発信への参加機会を設け、市民が主体的に観光運営に関わる仕組みの構築を図ります。あわせて、SNS投稿やフォト企画など、市民が日常の中で気軽に魅力発信に参加できる取組を進め、地域の魅力を広く発信します。また、市内の観光ガイドや観光関連施設における案内機能の充実を図り、研修の開催などによるガイドや観光関連事業者の育成を通じて観光客の受入環境を強化し、来訪者へのホスピタリティの向上を目指します。これらの取組により、市民と観光の関わりをより身近なものとし、市民参画型の観光振興と地域活性化につなげていきます。

現状・課題

観光振興における市民参画の重要性は認識されているものの、市民が観光に関わる機会や役割は限られており、観光への理解や関心が十分に得られていない現状が見られます。

また、観光ガイドや案内機能の充実は来訪者満足度の向上に欠かせない要素である一方、人材の確保やスキル向上を目的とした研修体系が十分に整っていない点も課題となっています。

今後は、市民が観光運営や魅力発信に参加できる仕組みを充実させ、市民と観光が身近に結びつく環境を整備するとともに、ガイド育成や案内機能の強化を通じて、おもてなし力を高め、地域全体で来訪者を受け入れる体制づくりを進める必要があります。

| 事業                            | 内容                                                                                                                    |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公民が連携した「大好きな甲府の日常」をまちなかにつくる取組 | 公民が連携し、「甲府まちなか未来ビジョン2025」に掲げる「居心地のいい場所をつくる」、「甲府らしい活動をつくる」、「つながりやすい導線をつくる」といった3つの柱に基づき、「幸せで豊かな暮らし」を実感できる甲府のまちなかを目指します。 |

| 事業                      | 内容                                                                                                                                                        |
|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| イベントを通じた市民参画の推進         | 「信玄公祭り」や「小江戸甲府の夏祭り」などのイベントにおいて市民が実際にイベントに参加するほか、ボランティアスタッフの募集や情報発信を促す取組を実施し、市民参画の促進と地域振興につなげます。                                                           |
| SNS等を活用した市民参画の検討        | 市民参加によるSNS投稿やフォト企画を通じて、市民が魅力発信に参加できる仕組みを検討します。                                                                                                            |
| ホスピタリティの向上による来訪者へのおもてなし | 甲府観光ボランティアガイドや日本遺産御嶽昇仙峡ガイドなどの活用により、多様な観光スポットでの案内や解説を充実させます。観光客がより深く魅力を感じられる環境づくりを推進するとともに、各種研修の開催や観光ガイド育成ハンドブックの活用等により、ガイドや観光関連事業者の質を高め、ホスピタリティの向上につなげます。 |

基本方針4：誰もが快適に過ごせる観光地づくりと交通環境の充実

本市が観光地として選ばれるためには、資源の活用だけでなく、来訪者がストレスなく快適に過ごせる環境づくりが不可欠です。公衆トイレ、案内サインなどの整備や移動手段の充実、滞在時間の延伸や再訪意向の向上に直結します。また、訪日外国人の誘客に向けては、多言語表示の整備など、インバウンドにも対応した快適性の向上や、誰もが安心して本市の観光を楽しんでいただけるように受入環境を整備し、ユニバーサルツーリズムの推進に取り組むことも求められます。

こうした観点から、国内外すべての来訪者が快適に過ごせる観光地づくりと交通環境の充実を、本方針に位置付けます。

施策・事業一覧

| 施策                    | 事業                                                                                              |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4-1<br>観光関連施設の維持管理と充実 | <div>○ 施設の維持管理</div> <div>○ 登山道、遊歩道などの維持管理及び安全確保</div> <div>○ ユニバーサルツーリズムに向けた取組</div>           |
| 4-2<br>回遊性・周遊性の向上     | <div>★ 新たな交通手段の研究</div> <div>○ リニア山梨県駅（仮称）の交通結節機能等の検討</div> <div>○ レンタサイクルの活用・充実</div>          |
| 4-3<br>インバウンドの誘客      | <div>○ 観光情報の多言語化</div> <div>● 県央ネットやまなしの取組</div> <div>○ 世界的人気キャラクターや甲府城などの歴史を活用したインバウンド誘客</div> |

★最重点事業   ●重点事業   ○通常事業

施策4-1：観光関連施設の維持管理と充実

本市が観光地として選ばれ続けるためには、来訪者が安心して滞在できる受入環境の維持と充実が不可欠です。観光施設や公共空間の適切な管理と、安全性・利便性の向上に取り組むことで、滞在価値の向上と再訪意向の強化につなげていきます。

具体的には、市営駐車場や公衆トイレ、観光案内所など、来訪者の利便性に直結する施設の維持管理と運営を適切に行います。また、登山道や遊歩道については、金峰山、板敷溪谷、中道往還などを対象に、案内板の整備や危険箇所の対応を行い、安全に利用できる環境を確保します。さらに、多機能トイレの整備、多言語表示やピクトグラムを活用など、ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた環境整備を推進し、多様な来訪者が安心して観光を楽しめる受入環境の充実を目指します。

現状・課題

観光施設や公共空間の老朽化への対応、登山道や遊歩道の安全確保など受入環境の強化は、観光の快適性・利便性を高める上で重要な課題です。また、誰もが安心して観光を楽しめる環境を実現するためには、バリアフリー化や多言語対応などのユニバーサルデザインの推進が求められます。

観光需要の多様化により、子育て世帯や高齢者、訪日外国人など、施設利用者のニーズは幅広くなっています。このため、観光案内や交通環境を含めたハード面の整備を進めることで、滞在満足度や再訪意向の向上につなげていく必要があります。

| 事業                   | 内容                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 施設の維持管理              | 観光地における市営駐車場や公衆トイレ、観光案内所などを適切に維持・運営し、快適に観光を楽しめる環境整備を推進します。                                                                                                                                                                                                       |
| 登山道、遊歩道などの維持管理及び安全確保 | 登山道・遊歩道の維持管理と安全確保のため、崩落・落石危険箇所への対応や案内板の設置等を実施します。<br>また、金峰山などの登山道、板敷溪谷・中道往還などの遊歩道を管理し、安全に利用できる環境を整えます。                                                                                                                                                           |
| ユニバーサルツーリズムに向けた取組    | 多機能トイレの維持管理や多言語・ピクトグラム対応の観光案内表示の増設により、ユニバーサルデザイン化を促進し、誰もが安心して観光を楽しめる環境を整えます。<br>また、観光地の案内看板の見やすさや情報の分かりやすさを高め、丁寧に正確な情報提供を進めることで、訪れる方が安心して迷わず楽しめる環境づくりを推進します。<br>さらに、緑が丘スポーツ公園再整備におけるユニバーサルデザイン化を推進するとともに、山梨県と連携し「やまなしパラスポーツセンター」を活用した周知を行うなど、スポーツツーリズムの導入を検討します。 |

施策4ー2：回遊性・周遊性の向上

観光地間を快適に移動できる環境の整備は、滞在時間の延伸や周遊性の向上につながり、観光地としての魅力を高める上で重要です。本市では、観光客と市民の双方にとって利便性の高い移動手段の検討と導入を進め、交通面の受入環境の充実を図ります

具体的には、観光地を結ぶ周遊バスやタクシー、電動モビリティ、シェアサイクルなどの活用可能性について検討を進め、市内の観光地を周遊しやすい交通環境を目指します。あわせて、市民の日常利用にも配慮した、使いやすい移動手段の在り方を検討します。

また、リニア山梨県駅（仮称）の開業を見据え、駅周辺における二次交通の在り方や交通結節機能の強化について、山梨県や交通事業者などと連携し、検討を進めます。さらに、レンタサイクルについては、無人貸出やキャッシュレス対応などの新たな仕組みの導入や、シェアサイクルの活用を検討し、気軽に回遊できる移動手段の充実を図ります。

現状・課題

観光地間の移動手段が十分でないことは、滞在時間の延伸や周遊性の向上を妨げる要因となっており、公共交通を含めた移動環境の充実は、本市の観光振興における重要な課題です。また、市民にとっても移動手段の選択肢が限られていることは、日常生活の利便性や生活の質にも影響を及ぼすこととなります。

今後は、電動モビリティやシェアサイクルなど新たな移動手段の導入に加え、リニア開業を見据えた二次交通の整備を進めることで、観光と暮らしの双方の視点から移動環境の課題解決を図る必要があります。

| 事業                          | 内容                                                                                                                                                     |
|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>最重点事業</div> 新たな交通手段の研究 | 観光地を結ぶ周遊バスやタクシーのほか、電動モビリティやシェアサイクルなどの活用可能性を調査・研究します。観光地間を周遊しやすくすることで来訪者と市民の双方が便利に移動できる仕組みの構築を目指します。                                                    |
| リニア山梨県駅（仮称）の交通結節機能等の検討      | リニア山梨県駅（仮称）の利用者が本市や圏域、県内各地を円滑に移動できるよう、リニア開業時の交通需要や次世代モビリティの導入も見据える中で、山梨県や隣接市町、交通事業者等と連携し、駅からの二次交通の在り方や必要な交通結節機能を検討するとともに、利用者の利便性向上の観点から基盤施設の設計を深化させます。 |
| レンタサイクルの活用・充実               | レンタサイクルの活用・充実を図るため、現在、こうふ亀屋座で実施している事業を拡充し、アプリを活用した無人の貸出やキャッシュレス決済の導入のほか、シェアサイクルを検討します。また、観光客の回遊性を向上することで渋滞緩和につなげるなど地域住民の生活にも配慮していきます。                  |

施策4ー3：インバウンドの誘客

受入環境の整備と情報発信の充実に取り組み、インバウンド需要の獲得を図ります。多様な文化や価値観に配慮した観光地づくりを進めることで、国際的な認知度の向上と来訪機会の拡大を目指します。

具体的には、観光案内所での多言語対応の強化をはじめ、宿泊、食、交通など滞在に関わる情報を分かりやすく整理、集約するとともに、研修等の開催による職員のスキル向上やデジタル技術活用により、外国人旅行者への対応力と情報提供の利便性向上を図ります。

また、県央ネットやまなしによる広域的な取組を通じて、圏域自治体と連携したインバウンド誘客を進めるほか、世界的に知名度の高いキャラクターの活用や、甲府城をはじめとする歴史資源の魅力発信により、本市の特色を活かした国際的な認知度の向上と誘客強化につなげます。

現状・課題

本市には、甲府城などの歴史資源や宝飾産業、御嶽昇仙峡や甲武信ユネスコエコパークといった自然資源など、国際的に訴求可能な魅力があります。しかし、これらの魅力を海外に向けて体系的に伝えるためのブランディングや情報発信の仕組みが十分に整っていない状況です。

一方で、インバウンド需要の回復・拡大が見込まれるなか、訪日外国人が安心して滞在できる受入環境の整備は、これまで以上に重要性を増しています。観光案内所や関連施設における多言語対応の強化に加え、宿泊、食事、交通など滞在に必要な情報を整理し、必要な情報に円滑にアクセスできる環境づくりが課題となっています。

今後は、多言語による情報提供や案内機能の充実、広域連携による誘客促進を進めるとともに、国際市場に伝わりやすい魅力の発信と受入基盤を総合的に整備し、滞在価値の向上と「選ばれる観光地」としての競争力の強化を図る必要があります。

| 事業                                | 内容                                                                                             |
|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観光情報の多言語化                         | 観光案内所での外国人対応強化（職員のスキル向上・タブレットの活用）や宿泊・食事・交通・通訳などの情報を集約し、多様なニーズに応える多言語の情報発信を行い、インバウンドの受入環境を整えます。 |
| <div>重点事業</div> 県央ネットやまなしの取組      | 県央ネットやまなしの構成自治体と連携し、各市町が持つ魅力的な観光地や資源をつなげ、インバウンド誘客促進事業などに取り組み、インバウンドの誘客拡大を目指します。                |
| 世界的人気キャラクターや甲府城などの歴史を活用したインバウンド誘客 | 世界的人気キャラクターの活用や甲府城をはじめとした歴史資源を活用し、インバウンドの誘客拡大を目指します。                                           |

基本方針5：観光を前進させる体制づくり

観光振興を着実に進めていくためには、行政、観光関連団体、事業者、地域団体、教育機関など、観光に関わる多様な主体が、それぞれの役割を明確にし、共通の方向性のもと、連携して取り組む体制づくりが重要です。

役割分担を明確にすることは、事業の重複や非効率を防ぎ、より効果的な観光施策の推進につながります。また、今後は本市単独の取組にとどまらず、「県央ネットやまなし」をはじめとする広域的な連携を通じて、各自治体が有する多様な観光資源を活かし、広い視点から誘客を図ることが求められます。こうした広域的な連携は、観光地間の周遊性向上や滞在時間の延伸など、相乗効果が期待されます。

これらの取組を担う観光推進体制を構築し、関係者が一体となって観光を推進することで、観光を通じたまち全体の持続的な成長につなげていくことを、本方針に位置付けます。

施策・事業一覧

| 施策                             | 事業                             |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 5-1<br>観光推進体制の整理               | ● 行政と観光関連団体の役割分担の整理と明確化        |
| 5-2<br>広域連携<br>(県央ネットやまなし等)の強化 | ○ 県央ネットやまなし等による広域的な観光の推進       |
| 5-3<br>観光関連団体及び<br>事業者等との連携強化  | ○ 観光関連団体及び事業者・商工団体・教育機関等との連携強化 |

★最重点事業 ●重点事業 ○通常事業

施策5-1：観光推進体制の整理

観光施策を効果的かつ持続的に推進していくため、本市では、行政や観光関連団体が担う役割や機能を整理し、効率的な体制構築を進めます。役割分担を明確にすることで、施策の方向性や取組内容の一貫性を高め、観光振興における成果の創出につなげていきます。

具体的には、行政と観光関連団体がそれぞれの業務領域や機能を見直し、各主体の強みを活かした役割分担のもとに連携を強化することで、協働性と実行力の高い観光推進体制を整え、より効果的な観光振興を図ります。

現状・課題

本市ではこれまで行政と観光関連団体が連携し、多様な観光施策に取り組んできましたが、役割の重複や業務範囲の不明確さといった課題が残されています。その結果、事業の効率性や施策効果の最大化につながりにくい状況が見られます。

今後は行政と観光関連団体が相互に補完し合う体制を構築するとともに、それぞれの強みを活かした役割整理と連携強化を進める必要があります。あわせて、戦略的な観光地経営を推進するために、マーケティング戦略に基づく事業展開や情報発信を一元的に管理する仕組みの整備が必要です。

| 事業                                        | 内容                                                                 |
|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| <div>重点事業</div> 行政と観光関連団体の<br>役割分担の整理と明確化 | 観光関連団体・行政の役割を整理し、強みを活かした体制をつくります。また、役割を整理することで、効率的で一貫性のある観光を推進します。 |

施策5－2：広域連携（県央ネットやまなし等）の強化

周辺自治体との広域的な連携を強化し、観光誘客の拡大と周遊性の向上につなげていきます。本市単独の取組にとどまらず、「県央ネットやまなし」をはじめとした広域連携を推進することで、各地域が有する多様な観光資源を相互に活用できる体制を整え、魅力ある観光圏の形成と滞在時間の延伸を図ります。

具体的には、県央ネットやまなし観光エリアが有する自然、歴史・文化などの地域資源を活かし、市町村の枠を越えた誘客や周遊の促進につなげていきます。

現状・課題

山梨県におけるインバウンド需要は富士五湖エリアに集中しており、その効果が県内全体に十分波及していないことが課題となっています。県内観光の経済波及効果を高めるためには、富士山周辺の観光に加え、その他のエリアへの周遊を創出していく視点が重要です。

本市においても、市内観光のみでは滞在日数や観光消費の拡大につながりにくい傾向があり、周辺自治体と連携した誘客や広域観光による観光商品の造成が求められています。

今後は、県央ネットやまなしを中心とした広域観光エリアとしての連携を一層強化するとともに、新たな周遊ルートの形成や共同プロモーションの検討を進めることで、滞在機会の創出と誘客の拡大につなげていく必要があります。

| 事業                         | 内容                                                      |
|----------------------------|---------------------------------------------------------|
| 県央ネットやまなし等による<br>広域的な観光の推進 | 県央ネットやまなし観光エリアが有する多様な観光資源を活用し、市町村の枠を越えた観光誘客と周遊促進につなげます。 |

施策5－3：観光関連団体及び事業者等との連携強化

地域全体で観光を支え、持続的な誘客につなげていくため、観光関連団体や事業者、商工団体、教育機関など、多様な主体との連携強化を進めます。官民を問わず幅広い関係者が情報を共有し、それぞれの役割を補完し合うことで、観光施策の実効性と推進力を高めていきます。

具体的には、観光関連事業者や商工会議所、農業協同組合、教育機関等と連携し、共同プロモーションの実施や観光商品の造成、新たな企画の検討を進めることで、地域資源を活かした誘客施策を展開します。こうした連携体制の強化により、地域一体となって本市の魅力向上と持続的な観光振興につなげていきます。

現状・課題

本市ではこれまで、観光関連団体や事業者、商工団体、教育機関など、多様な主体がそれぞれの立場から観光振興に取り組んできましたが、情報共有や役割分担が十分とはいえず、連携体制が限定的であることが課題となっています。また、観光ニーズの多様化・高度化が進む中、行政や観光事業者のみでの対応には限界があり、幅広い主体の参画と協働が求められます。

今後は、観光・商工・教育分野等が継続的に連携できる体制を整え、地域全体が一体となって観光振興を推進することが必要です。

| 事業                                   | 内容                                                                                              |
|--------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 観光関連団体及び事業者・<br>商工団体・教育機関等との<br>連携強化 | 観光関連事業者・商工会議所・農業協同組合・教育機関等と連携しながら、BIツール※8等を活用した情報共有や共同プロモーション、観光商品造成などを検討し、地域一体となって観光振興に取り組みます。 |

※8：BIツール（Business Intelligence Tool）  
企業等に蓄積された大量のデータを収集・分析・可視化し、迅速な意思決定を支援する

★最重点事業 ●重点事業 ○通常事業

基本方針1 エリアごとの強みを引き出す観光地づくり

| 施策                  | 事業                                                                                                                                                   |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-1<br>北部エリアの観光地づくり | ★ 「信玄の湯 湯村温泉」再開発事業への支援<br>★ 「日本遺産 御嶽昇仙峡」の取組による地域活性化                                                                                                  |
| 1-2<br>中心エリアの観光地づくり | ● こうふ亀屋座・小江戸甲府花小路を活用した賑わいの創出<br>● 甲府城の活用及び周辺地域の活性化<br>● まち歩き推進<br>○ ナイトタイムエコノミーの推進<br>○ 武田氏館跡周辺地域の整備と活用<br>○ 遊亀公園附属動物園のリニューアル<br>○ 甲斐善光寺、山梨県立美術館等の活用 |
| 1-3<br>南部エリアの観光地づくり | ● リニア山梨県駅（仮称）周辺のまちづくりの検討<br>○ 小瀬スポーツ公園の来場者に周遊してもらう取組の推進<br>○ 甲府南IC周辺施設を活用した取組                                                                        |

基本方針2 甲府の資源を最大限に活かした地域活性化と情報発信の強化

| 施策                                     | 事業                                                                                    |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 2-1<br>『山の都こうふ』の推進                     | ● 県央ネットやまなしによる山のぼり・まち歩き促進<br>○ 甲武信ユネスコエコパークや甲府名山を活用した山歩きの推進<br>○ スポーツ・アウトドアアクティビティの推進 |
| 2-2<br>『甲府ブランド』の活用と磨き上げ                | ★ ジュエリーを活用した誘客と地域経済活性化<br>○ 伝統工芸・食・ワインの活用<br>○ 農産物の魅力発信と交流促進事業                        |
| 2-3<br>武田氏の歴史を活用した観光推進                 | ● 史跡武田氏館跡の復元公開・活用<br>○ 信玄ミュージアムの活用<br>○ 武田氏ゆかりの地の活用                                   |
| 2-4<br>ユニークなコンテンツを<br>活用した取組の推進        | ○ アニメ等を活用したプロモーションの実施<br>○ 甲府ふるさと大使ハローキティの活用                                          |
| 2-5<br>選ばれる甲府に向けたマーケ<br>ティングプロモーションの強化 | ★ 魅力発信による「こうふFAN」の拡大<br>○ トrendをとらえたプロモーションの推進<br>○ わかりやすい観光情報の提供                     |

基本方針3 こうふ愛の醸成と市民参画による持続的な観光振興の推進

| 施策                             | 事業                                                                   |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 3-1<br>こうふ愛を醸成する取組             | ● こうふの魅力再発見事業<br>● こうふの魅力と共に生きる取組<br>○ 「甲府を好きになる」イベントの開催             |
| 3-2<br>公民連携による生活の質を<br>向上させる取組 | ○ 公民が連携した「大好きな甲府の日常」をまちなかにつくる<br>取組                                  |
| 3-3<br>市民が観光に関わるための取組          | ○ イベントを通じた市民参画の推進<br>○ SNS等を活用した市民参画の検討<br>○ ホスピタリティの向上による来訪者へのおもてなし |

基本方針4 誰もが快適に過ごせる観光地づくりと交通環境の充実

| 施策                    | 事業                                                                       |
|-----------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 4-1<br>観光関連施設の維持管理と充実 | ○ 施設の維持管理<br>○ 登山道、遊歩道などの維持管理及び安全確保<br>○ ユニバーサルツーリズムに向けた取組               |
| 4-2<br>回遊性・周遊性の向上     | ★ 新たな交通手段の研究<br>○ リニア山梨県駅（仮称）の交通結節機能等の検討<br>○ レンタサイクルの活用・充実              |
| 4-3<br>インバウンドの誘客      | ○ 観光情報の多言語化<br>● 県央ネットやまなしの取組<br>○ 世界的人気キャラクターや甲府城などの歴史を活用した<br>インバウンド誘客 |

基本方針5 観光を前進させる体制づくり

| 施策                             | 事業                                 |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 5-1<br>観光推進体制の整理               | ● 行政と観光関連団体の役割分担の整理と明確化            |
| 5-2<br>広域連携<br>（県央ネットやまなし等）の強化 | ○ 県央ネットやまなし等による広域的な観光の推進           |
| 5-3<br>観光関連団体及び事業者等との<br>連携強化  | ○ 観光関連団体及び事業者・商工団体・教育機関等との<br>連携強化 |